

第12回

統語法

～代表的な統語法の歴史～

Ⅲ 受動形の発達

何と訳しますか！？

<現代英語で・・・>

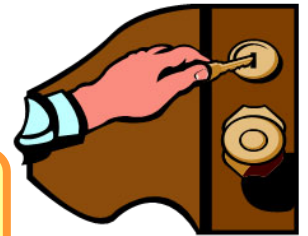
The door was closed.

2種類の解釈



状態

ドアが閉められていた



動作

ドアが閉められた

<古英語では・・・>

bēon/wesan+過去分詞
(= Be 動詞)

weorpan(become, getの
意味を持つ動詞)+過去分詞

異なる形で表されていた

<中英語では・・・>

状態

動作

bēon/wesan(=be動詞)+過去分詞

weorhan + 過去分詞

動作と状態の両方を
表すようになった

<現代英語で・・・>

be+過去分詞は動作と状態の
2種類の解釈が可能になった

受動文の主語

古英語
～14世紀

能動態

He laughed at me.

自動詞 前置詞 目的語



受動態

I was laughed ~~at~~ by him.

自動詞＋前置詞の目的語は主語になれなかった

14世紀～

I was laughed at by him.

自動詞＋前置詞の目的語も主語になり始めた

受動文の主語

19世紀になると・・・

能動態

He slept in the bed.

受動態



The bed was slept in.



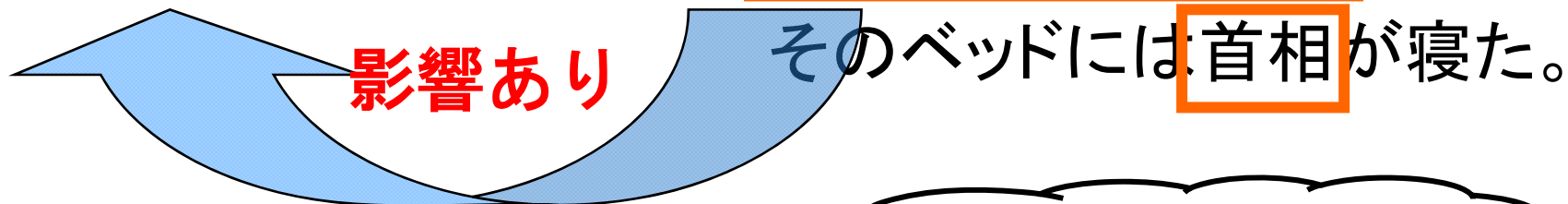
ベッドが乱れている、動いているなど、ベッドは、使用前に比べて寝た後の影響が残っていたことを示す。

受動文の主語

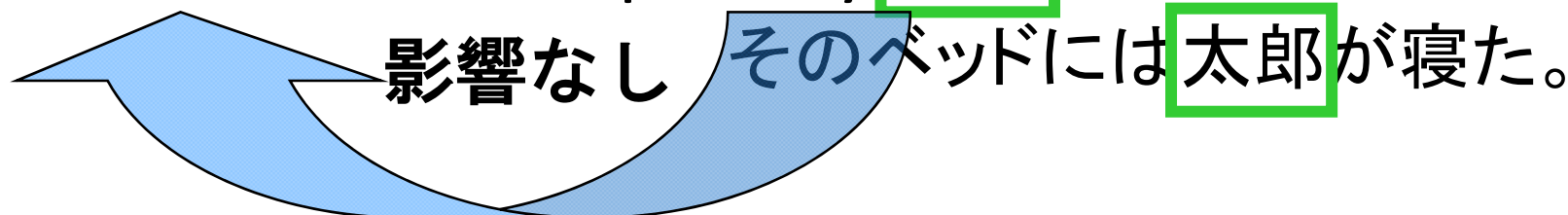
現代英語では...



a. The bed was slept in by **the prime minister**.



b. ?* The bed was slept in by **Taro**.



確認問題



19世紀の The bed was slept in

現代英語の

The bed was slept in by the prime minister

2つの文の共通点は何でしょう

確認問題



前者はベッドが乱れているなど何らかの物理的影響がベッドに与えられている。後者は非物理的ではあるが、首相が寝ることでそのベッドに箔がつくといった影響が与えられている。よって共通点はベッドに何らかの影響が与えられている点である。